

別紙

学校プール施設の整備方針

令和6年5月

稲敷市教育委員会学務管理課

はじめに

稲敷市の学校プール施設については、平成31年3月策定の稲敷市学校施設長寿命化計画において、プール附属室のみ施設評価を行い優先度を検討しています。しかしながら、プール本体については、長寿命化改修を実施するか否かは今後のプールの利用方法にあわせて検討するものとしており、これまで長寿命化計画の対象としていませんでした。

学校プールについては築40年を超える施設が大半を占め、プールの塗り替え等、修繕に費用を要するものが生じてきています。

そこで、現況や課題を整理するとともに、今後の学校プール施設の整備について本市の方針を示すものであります。

1 経 緯

平成17年の4町村合併当時は小学校が16校、中学校は4校あり、プール施設のない学校は江戸崎中学校のみであり外部のプール施設を利用していました。

町村合併後も、小学校は自校プールを活用して水泳学習を実施していたが、高田小学校については平成21年完成の認定こども園えどさきの建設に伴い、園建設敷地内にあったプールの解体撤去のために使用できなくなり、その後市内小学校や外部のプール施設を利用していました。高田小学校は平成16、17年に校舎と体育館が完成したが、プールについては江戸崎町時代に町民プールの建設構想があったため、プール用地は確保したものの建設までには至りませんでした。

中学校については、水泳学習は1、2学年は必修授業であるが3学年は学校選択での履修であり、小学校と比較して利用時間が少ないことから、町村合併後は自校プールのある学校も含めて外部プールの利用への切り替えが行われました。

平成26年には、新利根地区統合小学校の新設に合わせて、隣接する新利根中学校のプールを改修して新利根小学校のプールとして整備を行いました。これはプールを新設するよりも改修した方が費用を抑えられることが主な要因であったためでした。

その後、新利根小学校は改修とはいえプールを整備し、一方で高田小学校はプールを整備せずに外部プールを利用していることは、市の考えとして一貫性がないことが問題視されました。それを踏まえて、「小学校は自校プールの活用とし、中学校は小学校と比較してプールの利用時間が少ないことから外部プールの利用とすることを基本とする。」ことを市の方針として定め、これを受けて高田小学校のプールは平成28年に建設し平成29年に供用を開始しました。

令和2年には桜川地区統合小学校が建設されたが、プール施設についても学校建設計画当初は市の方針に基づき建設する方向で学校敷地内に用地を確保しました。しかし、小学校統合を進めていく中で、保護者等からプールの建設・維持管理に対する費用や人的負担、昨今の猛暑による熱中症の心配等の声が多く上がりました。また、令和元年には新利根地区に市民プールを建設する構想が市で持ち上がり、市民プールが完成すれば水泳学習にも活用できることから、桜川小学校にはプールを建設せずに外部プールを利用する考えで現在に至っています。

2 現 況

No.	学校名	建築年	経過 年数	プール付属室						備 考
				構造	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	
1	江戸崎小学校	昭和 57 年	41	RC	C	C	C	B	B	
2	沼里小学校	昭和 58 年	40	RC	C	B	B	B	B	
3	高田小学校	平成 29 年	6	RC	A	A	A	A	A	
4	新利根小学校	昭和 54 年	44	RC	A	A	B	A	A	平成 26 年に 大規模改修
5	桜川小学校	プールなし	－	－	－	－	－	－	－	外部施設利用
6	あずま東小学校	昭和 55 年	43	S	B	B	C	B	B	
7	あずま北小学校	昭和 55 年	43	S	D	C	C	B	B	
8	あずま西小学校	昭和 56 年	42	S	D	D	D	B	B	
9	江戸崎中学校	プールなし	－	－	－	－	－	－	－	外部施設利用
10	新利根中学校	プールなし	－	－	－	－	－	－	－	外部施設利用
11	桜川中学校	プールなし	－	－	－	－	－	－	－	外部施設利用
12	東中学校	昭和 61 年	37	S	B	B	B	B	B	外部施設利用

評価	
A	概ね良好
B	部分的に劣化
C	広範囲に劣化
D	早急に対応する必要がある。

※平成 31 年 3 月策定の稲敷市学校施設長寿命化計画において、プール付属室については施設評価を行い優先度を検討しているが、長寿命化改修を実施するか否かは今後のプールの利用方法にあわせて検討するものとし、長寿命化計画の対象としていない。

3 耐用年数

	処分制限期間	事後保全型	長寿命化
プール本体	30 年	45 年	80 年
プール給排水衛生設備	15 年	30 年	—

平成 29 年築の高田小学校と平成 26 年に大規模改修を実施した新利根小学校以外の小学校 5 校については、耐用年数の 45 年に近づいています。

【参考】使用見込み期間

	事後保全型管理における 使用見込み期間	予防保全型管理における 使用見込み期間
処分制限期間が 20 年未満の施設	処分制限期間の 2 倍	事後保全の使用見込み期間の 1.2 倍と設定（処分制限×2.4）
処分制限期間が 20 年以上～40 年未満の施設	処分制限期間の 1.5 倍	事後保全の使用見込み期間の 1.2 倍と設定（処分制限×1.8）
処分制限期間が 40 年以上の施設	処分制限期間の 1 倍	事後保全の使用見込み期間の 1.2 と設定（処分制限×1.2）

出典：公園施設長寿命化計画策定指針(案) 国土交通省都市局公園緑地・景観課

4 令和5年度の自校プールを利用した水泳学習実績

月日	6月															7月													実施 時間数	空き 時間数 ※1
	12(月)	13(火)	14(水)	15(木)	16(金)	19(月)	20(火)	21(水)	22(木)	23(金)	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)	30(金)	7/3(月)	4(火)	5(水)	6(木)	7(金)	10(月)	11(火)	12(水)	13(木)	14(金)	18(火)	19(水)			
平均 気温	24℃	28℃	26.5℃	26℃	27.8℃	27.3℃	26.8℃	25.8℃	25℃	25℃	28℃	27.4℃	27.8℃	29.3℃	27℃	27.2℃	28.4℃	29℃	27℃	30.8℃	31.7℃	30℃	30℃	29.3℃	29.3℃	31℃	30.6℃			
平均 水温	27℃	25℃	25.8℃	25℃	26℃	26.6℃	26.6℃	26.8℃	25℃	25.8℃	28℃	26.4℃	27.5℃	28.8℃	28.6℃	27.9℃	28.6℃	28.3℃	27.5℃	28℃	28.3℃	27.8℃	32℃	29.9℃	28.8℃	30.5℃	31.2℃			
江戸 崎小			6年 2時間	4年 2時間	6年 1時間	5年 1時間	4年 2時間	6年 1時間			5年 1時間	4年 2時間	5年 1時間	3年 1時間	6年 1時間	5年 1時間	4年 2時間	6年 1時間						4年 2時間			6年 1時間	42	35	
			5年 1時間	3年 2時間	2年 1時間	3年 1時間	2年 2時間	5年 1時間			3年 1時間	2年 1時間	1年 1時間		2年 1時間	1年 1時間								2年 2時間						
			1年 1時間			1年 1時間		2年 1時間			1年 1時間																			
					2時間								2時間	3時間	2時間	2時間	2時間	3時間	4時間	4時間	4時間				4時間		3時間			
沼里小					2年 2時間	4年 1時間	2年 1時間	6年 2時間			5.6年 1時間	2年 1時間	6年 2時間	4年 2時間		4年 1時間	2年 1時間	6年 2時間	4年 2時間	2年 2時間				4年 2時間			6年 2時間	48	24	
					1年 2時間	3年 1時間	1年 1時間	5年 2時間			3.4年 1時間	1年 1時間	5年 2時間	3年 2時間		3年 1時間	1年 1時間	5年 2時間	3年 2時間	1年 2時間				3年 2時間			5年 2時間			
						2時間	2時間				2時間	2時間			4時間	2時間	2時間				4時間				4時間					
高田小		5.6年 2時間			1.2年 2時間	1.2年 2時間					1.2年 2時間	3.4年 2時間		5.6年 2時間	1.2年 2時間	1.2年 2時間	5.6年 2時間	1.2年 2時間	5.6年 2時間		5.6年 2時間			5.6年 2時間				34	42	
		3.4年 2時間												3.4年 2時間			3.4年 2時間		3.4年 2時間											
					2時間	2時間	4時間	4時間			2時間	2時間	4時間		2時間	2時間		2時間		4時間	2時間			2時間	4時間		4時間			
新利根小	6年 2時間		6年 2時間			6年 2時間	5年 2時間	3年 2時間		3年 2時間		5年 2時間	3年 2時間			6年 2時間	5年 2時間	6年 2時間	4年 2時間	3年 2時間	2年 2時間	1年 2時間		4年 2時間	3年 2時間			58	30	
						4年 2時間		2年 2時間		2年 2時間		3年 2時間	2年 2時間		4年 2時間	1年 2時間	5年 2時間	1年 2時間												
												1年 2時間	1年 2時間				2年 2時間													
							2時間				4時間			4時間	4時間					2時間	2時間			4時間	4時間		4時間			
あずま 東小		6年 2時間				5年 2時間	3.6年 2時間		1.6年 2時間	2.4年 2時間	5年 2時間	3.6年 2時間	2.3年 2時間	1.6年 2時間		5年 2時間	1.4年 2時間	2.3年 2時間		2.4年 2時間	4年 2時間	6年 2時間	2.3年 2時間	1.5年 2時間				42	38	
							1.4年 2時間		5年 2時間			1.4年 2時間		5年 2時間																
						2時間		4時間			2時間		2時間		4時間	2時間	2時間	2時間	4時間	2時間	2時間			2時間	4時間		4時間			
あずま 北小					5.6年 2時間	3.4年 2時間	5.6年 2時間				3.4年 2時間	5.6年 2時間		1.2年 2時間		3.4年 2時間	5.6年 2時間		3.4年 2時間	5.6年 2時間				3.4年 2時間	5.6年 2時間			34	38	
							1.2年 2時間					1.2年 2時間					1.2年 2時間		1.2年 2時間					1.2年 2時間						
					2時間	2時間		4時間			2時間		4時間	2時間	4時間	2時間		4時間		2時間	4時間				2時間		4時間			
あずま 西小					3.4年 2時間			2.3年 2時間				2.5.6年 2時間	1.3.4年 2時間	2.5.6年 2時間	1.3.4年 2時間		2.5.6年 2時間	1.3.4年 2時間		1.3.4年 2時間				1.5.6年 2時間	2.3.4年 2時間	2.5.6年 2時間	1年 2時間	26	48	
					2時間	4時間	4時間	2時間			4時間	2時間	2時間	2時間	2時間	4時間	2時間	2時間	4時間	2時間	4時間			2時間	2時間		2時間			

※1 空き時間数は1日のプール使用可能時間を4時間とした。(移動時間を考慮)
同日のプール使用校が3校以上の場合に空き時間を参入(2校以下は何らかの理由により実施できない可能性を考慮して空き時間数には参入しない)

5 プール施設のない学校の授業状況

江戸崎中学校、東中学校は、コロナ禍の前と同じく全学年を対象としていません。

学校名	生徒数	クラス数	時数	利用時間	対象	民間施設	プール利用料(円)	バス借上料(円)	計(円)
桜川小学校	187	7	8	2時間 ×4日	2学年 ごと	L&M スイミングクラブ 佐原	1,821,600	860,310	2,681,910
江戸崎中学校	200 (299)	3 (9)	8	4時間 ×2日	1・2年	ジ・ヨイフル アスレチッククラブ 土浦	1,636,800	735,680	2,372,480
新利根中学校	145	5	6	3時間 ×2日	全学年	トップスイミング 龍ヶ崎スクール	1,425,600	714,120	2,139,720
桜川中学校	117	4	6	3時間 ×2日	全学年	トップスイミング 龍ヶ崎スクール	983,400	452,100	1,435,500
東中学校	134 (229)	4 (7)	6	3時間 ×2日	1・2年	トップスイミング 龍ヶ崎スクール	1,082,400	659,120	1,651,520
							6,949,800	3,421,330	10,371,130

※令和5年度の実績額を記入。

※児童数・生徒数については令和5年4月の実数。

※（ ）は全校生徒の数。

6 維持管理費

(円)

学校名	水道料	水質検査	プール 薬品	保守点検	浄化槽 点検清掃	計
江戸崎小学校	250,000	25,300	200,000	29,700	209,000	714,000
沼里小学校	250,000	25,300	200,000	29,700	－	505,000
高田小学校	300,000	25,300	200,000	29,700	－	555,000
新利根小学校	300,000	25,300	200,000	29,700	－	555,000
あずま東小学校	300,000	25,300	200,000	29,700	－	555,000
あずま北小学校	300,000	25,300	200,000	29,700	－	555,000
あずま西小学校	300,000	25,300	200,000	29,700	－	555,000
合 計						3,994,000

※令和5年度の予算額を記入。

7 民間施設利用との比較

江戸崎小学校を例に算出しました。

自校プール維持管理		外部プール委託 (タップスイミング 龍ヶ崎スクール)	
水道料	250,000 円	委託料 1・2 学年 106 名 3・4 学年 99 名 5・6 学年 102 名 合計 307 名	2,428,800 円
水質検査	25,300 円		
プール薬品	200,000 円		
保守点検	238,700 円	バス代	1,857,240 円
修繕費	400,000 円	延べ 36 台	
年額	1,114,000 円	年額	4,286,040 円

※令和 5 年度の予定児童数で積算。

自校プールの維持管理費と外部プール委託料では年間約 300 万円程度、自校プールの方が安くなります。

ただし、建て替えや新規にプールを建設する場合、工事費として約 2 億 8 千万円程度が必要であり、耐用年数 4 5 年とした場合でも、建設費だけで年間 620 万円が必要となり、自校プールと外部委託の費用比較は逆転することとなります。

建設工事費 2 億 8 千万円 / 耐用年数 4 5 年 \div 年間約 6 2 0 万円

8 修繕にかかる費用

【参 考】

プール塗装工事 9,130,000 円(令和 5 年 2 月入札 江戸崎小学校プール改修工事)

ろ過装置入れ換え 約 900 万円～約 1,100 万円 (参考：他自治体の落札状況)

膜のプールハウス 高田小に設置した場合 2 億 7 千万 (35m×35m (m² 20 万円))



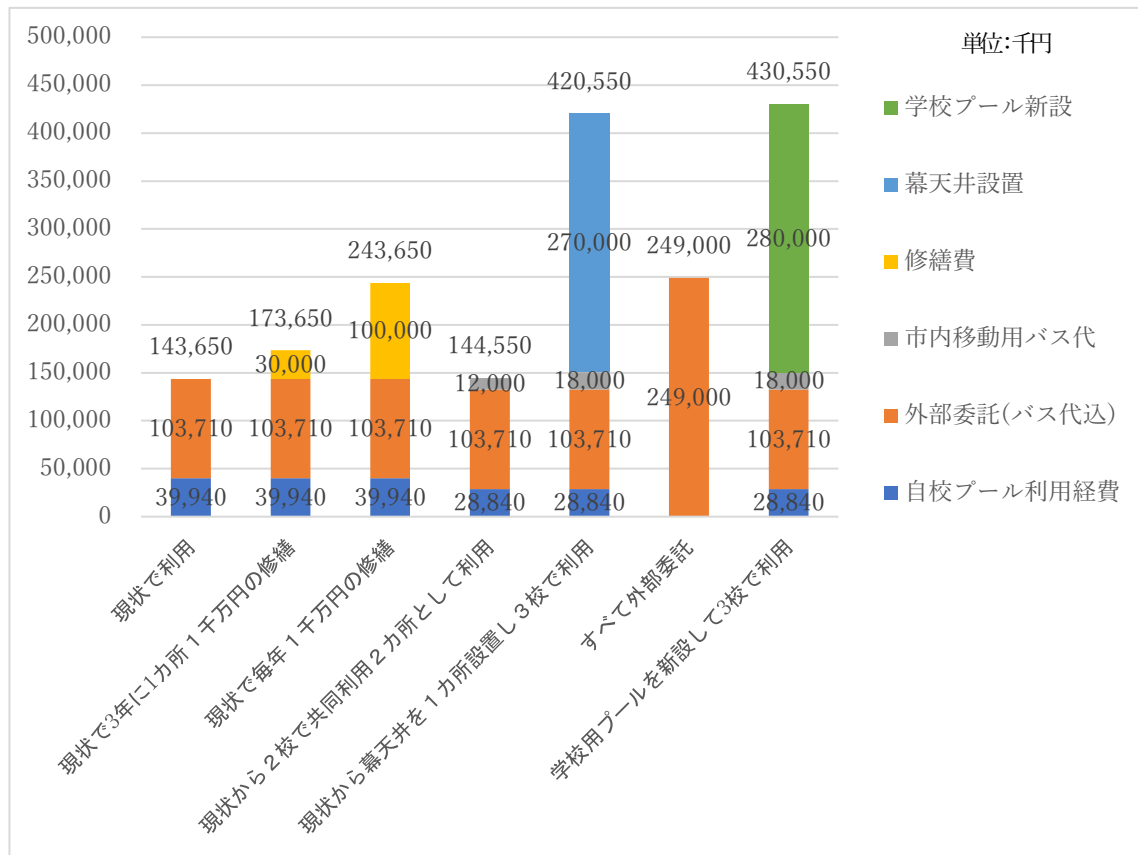
一部可動式の上屋（屋根）

2018 年に完成した福島県川俣町立山木屋小学校プールに設置された上屋

工事費 173,652 千円 (560 m² (m² 31 万円))



9 今後10年間の水泳学習経費比較



10 プール施設の課題

平成31年3月策定の稲敷市学校施設長寿命化計画において、プール付属室については施設評価を行い優先度を検討しているが、長寿命化改修を実施するか否かは今後のプールの利用方法にあわせて検討するものとし、長寿命化計画の対象としていません。

平成29年築の高田小学校と平成26年に大規模改修を実施した新利根小学校以外の小学校5校については、耐用年数の45年に近づいています。

建て替えや新規にプールを建設する場合、工事費として約2億8千万円程度が必要であり、耐用年数45年とした場合、建設費だけで年間620万円が必要となり、自校プール活用と外部プール委託との費用比較は逆転し外部委託の方が安くなります。

外部プール施設の利用については、現在、土浦市、龍ヶ崎市、香取市のプールを利用しているが、キャパシティ上の課題があります。

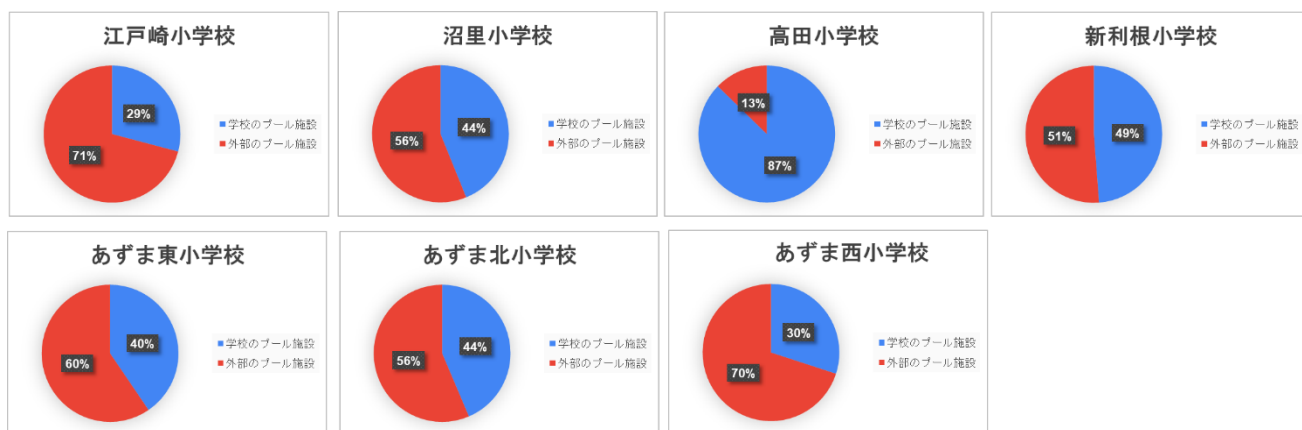
1 1 小学校のアンケート調査

1) 保護者

令和5年2月に市内の小学校（桜川小学校以外）の保護者へ、水泳授業、プール施設のあり方に関するアンケート調査（水泳授業を行うには、学校プール施設か外部プール施設か）を行いました。

結果としては、平成29年に新設した高田小学校以外の保護者の半数以上が、外部プールの利用がよいと回答しています。

アンケート結果 （対象児童数 1,970 名中 542 名回答）



保護者の主な意見としては次のとおりです。

自校プールの利用がよい	外部プールの利用がよい
<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みも利用できる。 ・移動に時間がかからない。 ・授業の時間が多く取れる。 ・不特定多数による感染症や移動時の事故がない。 ・外部施設や移動の費用、時間がかからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気や気温に左右されず授業時間が確保できる。 ・専門の指導者による授業が受けられる。 ・学校側の負担軽減。 ・保護者（奉仕活動）の負担軽減。 ・自校プールだと維持管理費や修繕費が高額。

2) 教職員

また、小学校（桜川小学校以外）にも同内容のアンケートを実施しており、内容としては7校中3校が学校プール施設、3校が外部プール施設、1校がどちらともよいとの回答がありました。

主な意見としては、保護者の意見と同様となっています。

自校プールの利用がよい	外部プールの利用がよい
<ul style="list-style-type: none"> ・外部施設の場合、年齢が幅広いため、移動、着替え、食事など個別に対応せざるを得ないため、多くの人手が必要となる。 ・移動や外部施設利用の費用、時間がかからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の負担軽減。 ・天気や気温に左右されず授業時間が確保できる。 ・専門の指導者による授業が受けられる。

1 2 近隣市町村の小中学校プール施設利用状況調査

他市町村の状況を把握するため、近隣5市町村（香取市：プライムスイミング佐原、土浦市：ジョイフルアスレチッククラブ土浦、龍ケ崎市：タップスイミング龍ケ崎スクール、阿見町、美浦村）へ下記のとおりアンケートを実施しました。

結果として、近隣市町村のプール設備も設置からかなりの年数を経過しており、老朽化が著しく修繕や維持管理に多額の費用を要している現状であります。また、今後の方針としては、民間施設利用等も視野に入れており、受け入れ先に苦慮する可能性が高くなってきています。

市町村名 設問	稲敷市	香取市	土浦市	龍ケ崎市	阿見町	美浦村
Q1. 現在、小中学校のプール施設利用はどのような方式か ①自校式 ②民間施設利用 ③公営施設利用 ④共同利用	①7校（小学校7校） ②5校（小学校1校・中学校4校）	①14校（小学校11校・中学校3校） ②1校（中1校） ※ 今年度未実施 ③5校（小学校3校・中学校2校） ④1校（中学校1校） ※ 今年度未実施	①22校（小学校15校・中学校7校） ②1校（義務教育学校1校）	①9校（小学校5校・中学校4校） ②2校（小学校2校） ③5校（小学校4校・中学校1校）	①9校（小学校6校・中学校3校） ④1校（小学校1校） ※ 中学校プール利用	①3校（小学校3校） ②1校（中学校1校）
Q2. 1クラスにおける、利用時間数はどのくらいか ①自校式 ②民間施設利用 ③公営施設利用 ④共同利用	①10時間 ②6～8時間	①2～10時間 ②今年度未実施 ③8～10時間 ④今年度未実施	①10時間 ②7.5時間	①7.5時間（目安） ②5～6時間 ③5～6時間 ※ 授業数ではなく実時間数で記載	①10時間 ④6～8時間	①10時間 ②6時間
Q3. 自校式の場合、夏季休業中のプール開放は行っているか ①行っている 【行っている場合は何日か】 ②行っていない ③その他【ご記入ください】	①3日～13日（令和元年度実績）	②行っていない	①5日～10日間 （小学校3校 令和元年度実績） ②小学校12校・中学校7校・義務教育学校1校	③一部の中学校でトレーニングの一環として夏季休業中に利用している。地域開放はなし。	①10日間（水泳教室のみ） ※ 一般開放なし （令和元年度実績）	①5～7日 （小学校2校 令和元年度実績） ②1校（小学校1校）
Q4. プール施設のない学校の経費 ①プール利用料（施設借上料等） ②バス借上料 ③その他【ご記入ください】	①2,566,080円 （人数の最も多い学校） ※ 施設借上料と指導料含む ②1,616,000円 （人数の最も多い学校） ※ 民間施設までの移動経費	①6コース1回90分 20,000円 ②1H 1,800円 ※ スクールバスの他校目的外使用として	①1,071,840円（義務教育学校） ※ 施設借上料のみ ②1,879,350円（義務教育学校） ※ 民間施設までの移動経費	①2,188,725円 （令和4年度各施設利用料合計） ※ 指導料含む ②608,322円 （令和4年度各校借上料合計） ※ 市バスが利用できない場合のみ借上げ	②1,714,608円（令和元年度実績） ※ 中学校までの移動経費	①570,240円（中学校1校） ※ 施設借上料と指導料含む ②616,000円（中学校1校） ※ 民間施設までの移動経費
Q5. 今後の水泳学習の方向性についてどのように考えているか	学校プールについては、築40年を超える施設大半を占め、プールの塗り替え等、修繕に費用を要するものが生じてきているため、現状を整理しながら今後のプール施設の利用について検討していくこととしている。	ほとんどの学校において、プール設置から40年を超える状況である。昨今、施設の老朽化により多額の維持管理費及び修繕費を要しており、民間施設及び公営施設の利用も視野に入れる学校も出てきている。民間施設及び公営施設を利用する場合、事前予約等が必須となり、希望する学校全てを受け入れることは困難であるため、あらかじめ市内各学校間での調整が必要となる。	学校プールについては、老朽化が著しく、修繕に多額の費用を要するため、学校プールの現状や維持管理費等を整理し、民間施設の利用も含め、学校プールの効率的なあり方について、プール整備基本計画の策定を行うこととしている（令和5年度予定）。整備基本計画での改修方針が決定するまでの間、小学校については、民間施設の利用や近隣の学校との共用化を先行して進めるとともに、現在のプールの延命措置として必要最小限の修繕を行う。中学校については、小学校との共用化も視野に必要な修繕を行う。	プールの老朽化により、大規模な改修を必要とする学校が増えているため、改修や維持管理にかかる費用の検討を行い、老朽化が著しい学校については、市総合体育館や民間施設のプールを活用し水泳授業を実施することとしている。	学校プールについては、老朽化が目立つ施設が大半を占め、修繕に費用を要するものが生じてきているため、現状を整理しながら今後のプール施設の利用について屋内プールも含め検討していくこととしている。	どの施設も老朽化しているため、修繕や衛生管理などの必要がある。統合小学校の建設を予定しているため、現状を整理して今後のプール施設の利用について検討していく。

1 3 今後の学校プール施設の整備方針について

学校プール施設の修繕については、施設・設備に不具合があった場合に修繕を行う「事後保全型」から、毎年度の保守点検等で不具合が生じそうなものや安全上問題が生じる恐れがあるものの修繕を行う「予防保全型」とします。

ただし、自校プールの活用から外部プール施設の利用等へ切り替えを行っていくことにより、維持管理費の削減ができ、猛暑対策や授業時間の確実な確保ができることから、今後は長寿化目的の大規模な改修や新設は実施しないこととします。

基本的には、小学校は自校プールの活用、中学校は小学校と比較してプールの利用時間が少ないことから外部プール施設の利用とするが、小学校については、利用時間数や移動時間を考慮してのプールの共同利用についても検討しながら、さらに、「近年の猛暑による児童の安全性の確保」や、「気温等に左右されずプール授業が確実に実施できることによる教育環境の向上」、「自校プールは不要とする保護者が増えつつあるニーズへの対応」という意見も多いため、徐々に外部プール施設の利用等へシフトしていくことを本市の方針とすることといたします。

○学校単独のプール新設は行わない。

○既存プールの改修が高額となる場合は、改修費用と外部委託費用を比較したうえで共同利用又は外部プール施設利用に切り替える。

○共同利用できるプールは比較的、空き時間がある高田小学校とあずま地区3小学校とする。ただし、高温になる時間帯や移動時間など、制約されることがあるため、既存校及び利用校において十分に協議を行った上で実施していく。